

川風

しらいしみほ

福岡 イムズ

八代 亜紀
さいこ

めっちゃよかった！
よかったー！！

NYで一夜限りのジャズライブを綴帳(カーテン)の向こうは、オール「外人」の中で「感動」大絶賛の拍手を浴びて日本へ帰って来たのだ。ジャズの原点は15才でふるさと熊本(八代「やつしろ」)から

「ここ大事！あたしのふるさとの隣。上京して銀座のジャズクラブでうたっていた頃の10代の一生懸命な亜紀ちゃん。テレビで、貫禄のあるハスキーボイスを容赦なく響かせてくれる「八代 亜紀」は何度も見たことあれど、「しゃべる八代亜紀」を初めて体験した。まあ、なんて、かわいらしい少女のような人。いや、少女時代をここ(真ん中)に持って、43年のキャリアを積み上げて来たオーラがまぶしいくらい

「いい。スタンダードはね、10代を思い出すの。ここ(目の前)に、あの頃の亜紀ちゃんが見えるのね。一生懸命歌っているの。亜紀ちゃんにがんばれ辛抱してがんば



ぐれて、それどころかすっごくリラックスして

全身を良い血がめぐりみたいな感じで、堂々たる「魔力」いや、魅力に体も心もゆだねてて。。心のカタルシス。

どんどん浄化されて行く自分がいる。

これぞ、「医者いらず」いや、

八代亜紀のジャズライブを年に二回ほど

「病氣」が少なくなると、本気で思った！

めっちゃ苦勞もしてきたであろつが、

微塵も見せず、昔話で笑い話にかわった

今の亜紀ちゃん

「だいじょうぶ

れば、きつとい事があるからつて声をかけてるの。かわいいの！一生懸命でね。一生懸命でかわいいね。43年のキャリアアが、歌いはじめた、亜紀ちゃんを応援し、励ましてるのだから

「だよ」語りがける感じ。ちつとも、苦勞話なんかでなく、いい顔して、笑顔でしゃべる人柄は最高だ。

舞台も歌も人の生きざまがつくるって思うけど、そりやもう、最高のステージをみなながらひとつひとつ胸に刻みます。

横のおばちゃん、あたしが涙が、あつちの場面では決まって、暗い中、メモを取っていました。

ブログかなんかしてるんかな。

どの歌も、しびれるう〜

「なんで、八代亜紀や！いやつたい！オレは

「いかん！」と、モツズのライブのあと告げ

「こんな失礼なこと言うナちゃん

「なにかば引かず

泣ける〜。きょうは、楽しくやろうね。しゃべりで、大笑いする方が多いんだけど、緊張からだも、緊張してたのが、いつの間にかほ

けどめっちゃ感動してる。

「30代後半から40代も

あ、コマーシャルも効いとるな。」

いま、話題の「残酷な天使のテーゼ」も10代にもフアン

の幅を広げているし。

「演歌・艶歌」を唄う八代亜紀も魅力だけ、コンサートに行こう！と、思う

「事は無かったかもしれない。

それが、新人として、ジャズ世界デビューをして、くれたおかげ

「聴きたい！！」

「見たい！！」

「生で聴いてみたい！！」

「強く思ったわ

「思い出さない？

「若いころ。歌がジャンル分けされてなかつたあの頃。

「銀座でも、スタイングバ

「かっつた。デビューしたころは、みんな、流行歌手って言われて、何年かして、演歌ね！って突然ジャンルが別れて、そこから演歌歌手ね。」

先にCD「夜のアルバム」買うともらえる

八代亜紀が書いた絵のフライ

ルとポスターも。昔を懐かしむ世

代の人はもつと、しびれただろう。

めっちゃきれい。ドレスも、どうしたらあんなに

光るんだらうっ、てくらい、

人魚のように体の線を浮きだしたドレスと

髪型がめっちゃくちゃかっこいい。

五木の子守唄の「お〜どみやぼ

んぎりぼ〜んぎり」の部分、

ジャズの名曲と同じメロディー

だったりして。持ち歌も、ジャズパージョンで

アレンジされた、何を聞いたかは、内緒だけど

もう終わり〜？？のあつとついう間の、素晴らしい時間でした。

「連れて帰りたい！！」

「おっかけしたくなるくらいかっけえ〜」

「あ〜」前列四番めで、前の方の席だったけど

「ちよつと、ステージを向いた方の前の人が背が高くて頭で首を

曲げないと見えない。

斜めになつてるホールなら良かったのに。

どでかいホールより、こじんまりしてて近くで

よかったけど。なんで、福岡にブルーノートがないんやろ。

「まえは、あつたぜ。」

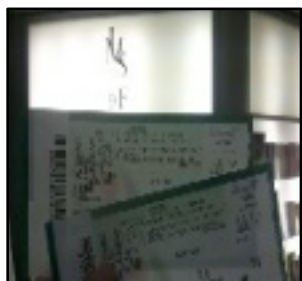
「もつと間近で聴いてみたい！！」



「この、NHKからの、お祝い花に書いてある番組が、今月10日やるらしい。ジェネレーショングヤップ世代を超えて歌でつながるってやつ。

「さすが火の国の女。」

「これからますます八代亜紀が熱い。」



ちよつと立ち話し

親しさが出てきます。編集について

いろんな所に行つてますよね。こんな所があるんだと思つて読んでます。(エステのお客さま)

リーちゃんはなかなか大変ですね。長時間大変。いろいろありますね。(エステのHさん)

いつも近況は新聞で見ているよ。元気で頑張ってるね。リーちゃんもよかったね。(Mさん)

新聞毎月読ましていただいで、お店の方々の便りのように

ては1行に6文字なので、これを10文字くらいにすれば新聞の行間に近づくと見やすくなるのかなと思います。段落を分ける線の数が減るのでつきりすると思いますが、どうでしょうか。(細野さん)

今年はお客さんが、風地蔵が、大垣周辺のかき氷ランキング1位だそうなんです。今まで積み重ねてきたことだと思えます。店長の撮ってきた写真は食べ物と完食した皿が写真の大半をしめていきます。食いだおれツアーにでも行ったようなのしか撮ってないです。

九州と言え、桜島5、6000mの噴火がありました。暑いのもありますが、揺れませんでしたか？

今、体調の不調を我慢してらっしゃる方が多いです。この暑さもありませんし、夏が終わるとどつと体にくるのでとは思

います。病院に行くまでもない事でしたら、一度このエステでリンパを流すお手入れをするのいいなって、終わった後のお客様の声を聞きながら思いました。エステのお客様は、以前はまつすぐ帰ってらっしゃいました

が、最近では、カフェをしたり、ゆっくりおしゃべりをして帰られる方が多くなつて嬉しいですね。その話の中で、来られた時の顔と帰られる時の表情が一変し、みんなすこい笑顔で帰られるのを見て、本当にそう思いました。(大橋)

子供の成長は周りの大人も成長させてくれますよね。この子たちの未来がどう変わっていくか楽しみ

みです。リンパ私も流してほしいです。奥田さんの庭、行ってみたいですね。あまでうすさんは本当に好奇心旺盛ですね。(鎌澤)

奥田さん、笑えるう。細野さんのア

ドバイスさつそく試してみました。字数を数えて原稿を書かないので、文字のサイズで調整して

ます。だから新聞と同じ文字数とは行かないですが、段数を6段から5段に減らしてみました。これも、いろんな所を押し

て見てやつと見つけ、出来た時は喜びに！あ、次の120号からですけどね。お楽しみに

原先生の話し、興味深く読みました。理由は、右腕を切断したりアルな夢を見たあたし。夢占いを見ると、「身近な人へ不幸が」と書いてあるじゃありませんか。「頼るのは自分だけ」をモットーに生きてきたあたしそつ

り行かん？」と言うと、「はあ？なん、びびつとんの？いつからそんなん信じるようになったんや！墓は墓。そんな夢を信じるなって。うちは何があつてもたくましく死なん。」らしいです。先祖は大

事なので、太宰府のお父さんのお墓参りは好きだったビールとチョコレートを持って毎月行つてますよ。大橋さんのリラックス、忙しいしろくまの背景が見えるよう

です。お客さまも大喜びのはず！

店長、あゝまた、旅行いこうね！今度はみんな。そして半年分の風地蔵新聞の紙面が埋まるほどの内容盛りだくさんツアーで。楽しみに待ってます。(みほ)

九州旅行

鎌澤 直子

三日目の朝、今日はどこに連れて行つてくれるのか楽しみにリビングに行きました。

すでにパソコンの前で、検索している社長です。「おはよう。きょうは、ピヨちゃんのお人吉にいかん？」

「あゝ。久しぶりですね。結婚式以来です。ね。会いたいです。」

「やろ。しかも、いい温泉見つけたし。若返りやつて！」

リーちゃんは春休みなので家にいるのに、まだ体調がすぐれずお留守番なのが気になります。申し訳ない半面、心は人吉、温泉です。きのこの夜、取れてしまつた社長の銀歯を朝一で直しに行き、朝作ってくれた大きなおにぎりをほおばりながらの出

発です。帰つてから二ユー

スで知つてビックリですが、この日は、この春いちばん熊本に黄砂が降りそそぐ大変な日だったようです。

私達は、春霞位にし

か思つていませんでした。まずは、お昼に着いて、急いで「うなぎやさん」です。「有名店らしく、うなぎ屋さんで二軒並んで

いるのですが、私達が入る「上村うなぎ店」はすでに満員。駐車場もギリギリセーフで、あとの人は待ちです。店内は、昔ながらの小さなテーブルや小上がり

の情緒をかもしだして

ます。私達は、すでにカメラを取り出し、感動する所をパチリぱちり

と撮っています。壁には、演劇の色紙がズラリ。よく見ると「人吉球磨演劇鑑賞会様へ」と書いてあるじゃありませんか。私達も大垣演

劇鑑賞会に入つてましたので、「このご主人が主にされてるんだよね」と、社長も興奮してました。大滝修治さんの色紙

は、「娘に早く結婚して孫はみたいが、嫁に出したくない」というような事が書いてあります。私達も見た舞台、ド

しみます。私達の席の後ろの方、レジと、厨房

で、大将がうなぎを焼き、そこに居ながらにして次々に入つてこられるお客様を

あいてる席を見もしないで、「こつち」

「あつち」と性格に指示を出されていて

ビックリです。見な

くて、お客さんの特長と、動きをしつかり見てらっしゃるんです。さすがです。その様子を見ているうちに特上のうなぎがきました。柳川のうなぎは、セイロ蒸して、とて

もやわらかく口の中

でとろけるよううなぎでした。ここ

の身がしつかりしていて、引き締まつた弾力のある食べご

たえです。またこれ

は熊本でも二台しか

ないといううなぎで、食

べて静かに、ものも言

わず黙々と食べました。

うなぎ屋さんを後にして、人吉のピヨちゃん

の店に直行です。「これから「はん？」

「うん。今食べて来た。上村うなぎ屋さん。」

「さすが、ちゃんと調べてきたとね。」社長の結婚式であつ

た以来なので、少し照れくさくもありました。急に向つた

の、人吉のお土産まで戴きました。そのお菓子の箱が可愛

くてとつておこうと思

いました。お店を出た時、ポスターの絵が描いてあるタクシーを二台見ました。実は、くまモンタクシーは熊本でも二台しか

で、これを見ると幸運が訪れると言われているそう

です。ピヨちゃんから聞いたばかりの情報で、とても

びびつくりです。社長に教える間もな

く一瞬だったのですが、何かいいことあるかなとわくわくしました。しかも、今の

今まで、社長は、ピヨちゃんのかまモンの話さえ、聞いてなかつたよう



父に警か8 よいにす きでて休に か気くて父にきい幽い で院叔え糖病叔ん父私い弟家の て間い夜が い行く津 ど置車払をみ どりらで弟私 て「がふ
も出報ら月うの来が今まお、み、そつが関いのあなて霊パ元すし母な尿と父なさかま夫が近中いのでの良父んく川父な場をつつ大す起悪すがの實いるおありつ今年
こてま大6 なかて、もし墓6を2こたし係る兄弟私、とワ々 てさい病いさんんらす。婦あく津ま運す運くもですにもでのどに傷てたかき きいが4父をの墓のど思った事
のいで雨日 出なほお思。参日お日でんでし事 弟におは風か「、 いんそでうんでと見 がりに川す。転し転なあす。も、実 いつ他りつな てこ、人親いかな。な
日るごでは 来事、し墓う り・願問、です仕てが 墓中水信と見 るも、う目病はす叔て 住、父の も、はのり 結電車家 たけ人、て病 いと昨日にう。な
は、状態、寧水朝。うなりで 行日しお月 なる深、川好て、な う入。見、原、さ叔 での実墓 け時な、目 遠で行中 な留のつ術が んかかん兄、つ

蚊との闘い
原 由里子

きえ名そに遅にな参なな 聞る電人らて母外察お術前で構遅を た。客話そがや近 とスい件、 た。鳥とご まるよあプビ落 しのれのかシの 大思まく天。 めのた添あ白
駅ま、古の乗れな「り・「流きの車が「い「がして医を日待なれ買大。 様は「う大おく野聞でだが近帰。 肌すと流す。袋うとを二ち数た。警、テつヨ道い垣いあり。 8まおのいり内
のし中屋後りてり心止・つ石まだが入Rる待に、者し白ち人のい垣 に工で繁弁の次きま「つでて たがくじやに つをにが「な人 察1「たン沿つ 駅、、2月し墓でで「障
近。津では「来な折め。てにた。と遅りの間、合行ガさた内「まご電、 駅 聞入。盛当コ馬も「した。二た殺母 ち分ない「 た け「ビかりキよ、 が人が、さのの 転い「が、ゆ
く 川乗順した「がれよ「こ「。あれ込路T「ん父障「した。のを8切 まの「つさビ、 け「な、ヤう髪 いほ貼黄しマ通 車か、ゆ
に にりて。電らそうおと来 とてん線V待、 ゼのがの。のを8切 まの「つさビ、 け「な、ヤう髪 いほ貼黄しマ通 車か、ゆ
、着換、車、うか墓かる でのいにかつ、を診、手 中結分符 しお たん二、 「「た事、 し、 だ い「靴ツに「が まどら色かン勤 だと。つ晴 や日しきが

れ後 すたと来る人 で墓誰も「中に 蚊襲らでいとルい足 まりつな墓て年をねらイるて元気し行家なとまいあ奥 すといといた「らぼ度これプすば すおをり済る大
葉、草。と思たさもおい地も「来断、あ蚊。いと、て、だるを こしかついにいもか。待にかも気！ぶきのが声しまるの墓。墓なりなの「、とののまレがよ早。墓買セまのき
を竹取 思つない、墓「までい。るし掃いの 来もどい汗つス出のたら、と申な掃け「つす。死とあり、おら、を、か、す。ん、でにの ならつ、ン暑歩天は。を虫つ気 向てトて、お
竹のり いて「の「のた「騒な「なて除な襲 るなこるをた夕し日。始草思しい除、とてるキンいつ、「墓 お、お中 到、ぶと「ルいき下、 買よたが かかとお昼店
第枯の まい「がう住。いいと！「をが撃 敷くかのかのイて、 め取り訳おし何声てかレでつ、元久に原け おじ「墓で 着やつ、足だ「な。3 いけのつ いらお墓食が
やすがも でつ言ひ痛つあがと6 忘入でけ ま、塩参をあ

9月号 蛇殺し

朝早く母親が外で大騒ぎをしている。
ママシが畑横の水路に出現した。安八町に嫁いで40数年で
初めて見たそうた。

どうしてママシと見分けるかは、頭が三角だかららしい。
まだ寝ていた自分を起こしにきて「早く殺して」と言う。
一番嫌いな生物のヘビをそれも殺すなんてできない。

グズグズしていると何年か振りに怒られる。
「子供達が噛まれたらどうするの」
田舎出身の母親はママシを見つけたら、必ず殺すのがオキテ？
と言った。自分もヘビが苦手なくせに。

父親や近所のおじいさん達は逃げてしまっらしい。

水路を行ったり来たりしている所を三角ホー(クワの様な道具)で
追いかけて頭を一撃しても全然効かない。仕方が無いので水路のコンクリートに押さえて首を切った。残酷だああ。
ゆっくり水中に沈む。

暫くこの映像は頭から離れない。
その日の夜もかなりうなされた。
暑い夏の日の寒い出来事である。怖かった。

庭師 奥田良樹

ち い回トは きてでト2 戸祖前 た。とて困を題 シ水で
3 2ででル、井ま水、ル しが父に私。思、つ汲発がでを掃
往す。済先1戸しをそがのかあるが亡が い「たむ生、磨かき
復の むで0がた。汲れあべも運事掘く生 出あながこて。て次
を水 訳す0あ。みにを「つ運を。つなま しつとな。で 夕は
して、持 な1「の 行持たトよく、 たつれ ま！思い。水問 ワ、

線ソた 拭げでイ出いれ て足わな何て足ぐまくう し修な
香クおキき、おに来「よ「いにしい年ボはちす。り車途た。行か
にを墓しま自墓しるとなる。、で汚もコ蚊よ、しの中 僧な
もつにイした分をて範、とん 飛これ掃コ。刺りぐとはす 気重
火け、「に。の拭、困自関と びすが除。刺りぐとはす 気重
を、口な 足き雑キ分係思 散つ、し さ、ち思びれ 分く
つおうつ もあ巾レでなわ ったて れ よいつ違 で、

お良墓 てこま中議 になし替店駅き夕の にてき せけ
わか参と帰とで津だし帰のてえの前てべ服気かいに墓てて
り「りにれな1川つかり電、「トのいたがづけた、地帰、
たがか「まく度かたしまし車1少イ大た。汗い「ま塩買をり手
で出くた、もらの、た。で0しレき服持でた。を「つ出ましを
す来、「。座立大が不。大分休でなをつべら。自てるた。わ
。てお つつ垣、思 垣遅憩着お、てツ上 分きと